

# 山下麻衣+小林直人

E-mail: info@yamashita-kobayashi.com  
Web: www.yamashita-kobayashi.com  
千葉県在住

## 学歴

### 山下麻衣

- 2009 東京芸術大学 大学院美術研究科 博士後期課程 油画研究領域 修了
- 2005-6 ベルリン芸術大学 スタン・ダグラスクラス 研究生
- 2004-5 バウハウス大学ワイマール大学院パブリックアート&ニュー・アーティスティック・ストラテジーズ
- 2004 東京芸術大学 大学院 美術研究科 修士課程油画専攻修了
- 2001 東京芸術大学 美術学部 絵画科 油画専攻卒業
- 1976 千葉生まれ

### 小林直人

- 2005-6 ベルリン芸術大学 スタン・ダグラスクラス 研究生
- 2004-5 バウハウス大学ワイマール大学院パブリックアート&ニュー・アーティスティック・ストラテジーズ
- 2002 東京芸術大学 大学院 美術研究科 修士課程油画専攻修了
- 1999 筑波大学 芸術専門学群 洋画コース卒業
- 1974 千葉生まれ

## 受賞

- 2023 野村財団助成
- 2016 テルモ生命科学芸術財団 現代美術助成
- 2014 ポーラ美術振興財団 国際交流助成
- 2013-14 ポロック・クラスナー・ファウンデーション助成
- 2009-12 文化庁新進芸術家海外研修制度研修員
- 2011 吉野石膏美術振興財団助成
- 2010 野村財団助成
- 2007-08 文化庁新進芸術家海外研修制度研修員
- 2007 特別賞、VAD:インターナショナル・ビデオ&デジタルアーツ・フェスティバル (スペイン)
- 2006 朝日新聞文化財団助成  
野村国際文化財団助成  
Honorable Mention 賞、トランスメディアアーレ 06 (ベルリン)  
特別賞、VAD:インターナショナル・ビデオ&デジタルアーツ・フェスティバル (スペイン)  
2位、グシュタート・フィルム・フェスティバル 2006 (スイス)

## レジデンス

- 2014 quartier21、MuseumsQuartier (ウィーン)
- 2011 ISCP- インターナショナル・スタジオ&キュレトリアル・プログラム (ニューヨーク)
- 2010 キュンストラーハウス・ベタニエン (ベルリン)
- 2010 LIA-ライプツィヒ・インターナショナル・アート・プログラム (ライプツィヒ、ドイツ)
- 2009 キュンストラーホイザー・ヴォルプスヴェーデ (ヴォルプスヴェーデ、ドイツ)
- 2007 シュレスビヒ・ホルシュタインニッシュェス・キュンストラー・ハウス (エッケルンフェルデ、ドイツ)
- 2006 キュンストラー・アトリエ・AKKU ウスター (スイス)

## 主な個展 (\* カタログ)

- 2023 「もし太陽に名前がなかったら」 千葉県立美術館 (千葉) \*
- 2021 「蜃気楼か。」 黒部市美術館 (富山) \*
- 2018 「自然観察」 タクロウソメヤコンテンポラリーアート (東京)
- 2015 「ノートとノートの中」 小山市立車屋美術館 (栃木) \*
- 2014 「山と犬」 ヒロミヨシイ六本木 (東京) \*
- 「A Dog and Wooden Sculptures」 Asifakeil、ミュージアム・クォーター (ウィーン)
- 「infinity」 RL Window、ライアン・リー・ギャラリー (ニューヨーク)
- 「1000WAVES」 Suburban PS (ロッテルダム)
- 2013 「Works On Paper」 代官山 T-Site (東京)
- 2011 「The Four Souvenirs and The Book」 タクロウソメヤコンテンポラリーアート (東京) \*
- 「Adventure, Courage, Love and Friendship」 クンストフェライン・ゲッティンゲン (ドイツ)
- 「infinity」 Arthouse at the Jones Center (テキサス、アメリカ)
- 「IMPRINT」 FIT (バンクーバー、カナダ)
- 2010 「GOING MAINSTREAM」 クンストラーハウス・ベタニエン (ベルリン)
- 「Screen Spirit\_Continued\_#11」 ブレーメン市立ギャラリー (ブレーメン、ドイツ)
- 2009 「Viewing week」 タクロウソメヤコンテンポラリーアート (東京)
- 「The Small Mountain」 タクロウソメヤコンテンポラリーアート (千葉)
- 「playing with time」 NOW IDeA by Utrecht (東京)
- 2008 「INUZORI」 ラッシュェ・リプケン (ベルリン)
- 「When I wish upon a star + Infinity」 STUK芸術センター (ルーヴェン、ベルギー)
- 2007 「1000WAVES」 クンストハレ・リンゲン (ドイツ)
- 「infinity」 ZAIM (横浜)
- 「山下小林連続再生@まるや」 (直島)
- 2001 「dam has broken」 東京芸術大学大学美術館 (東京)

## 主なグループ展・スクリーニング (\* カタログ)

- 2020 「Under the stars」 ニュー・サウス・ウェールズ州立美術館 (シドニー)
- 「VIDEO ART WEEK ROMA」 MAXXI MUSEUM (ローマ)
- 2019 「瀬戸内国際芸術祭 2019」 女木島 (香川)
- 「山下麻衣+小林直人、ラファエル・ローゼンダール」 タクロウソメヤコンテンポラリーアート (東京)
- 2018 「HORS PISTES : El estadio del arte」 ポンピドゥセンター・マラガ (スペイン)
- 「旅-ちょっとそこまで、遠くまで」 千葉市美術館 (千葉)
- 「New Japan」 Solyanka State Gallery (モスクワ)
- 2017 「PARC7 : とおくのことを考える」 札幌駅前通地下歩行空間 (チ・カ・ホ) (北海道)
- 「KizArt」 Palazzo delle Esposizioni (ローマ)
- 2016 「飯田竜太、鈴木基真、山下麻衣+小林直人、矢津吉隆」 タクロウソメヤコンテンポラリーアート (東京)
- 「Time, Light, Japan」 ニュー・サウス・ウェールズ州立美術館 (シドニー)
- 「1000 waves」 OnArte (ミヌジオ、スイス)
- 2015 「カフェ・イン・水戸 R」 水戸芸術館 (茨城) \*
- 2014 「new york stories: twenty years of iscp」 ISCP (ニューヨーク)
- 「Songs for a pigeon」 スイス大使館、gallery COEXIST、プラザギャラリー他 (東京)
- 「富士吉田芸術倉びらき 2014」 (山梨)
- 2013 「Now Japan」 Kunsthal KAdE (アメルスフォールト、オランダ) \*
- 「Victory Obsessed」 ザメク・カルチャー・センター・ポズナン (ポーランド)
- 「アートがあればII」 オペラシティアートギャラリー (東京)
- 「Super 8」 MAM Rio (リオ・デ・ジャネイロ、ブラジル)

- 「tireless worker」 insitu (ベルリン)
- 2012 「Cities and Things That Matter」 ロンバード・フレイド・プロジェクト (ニューヨーク)  
「Eleventh Hour」 Futura 現代美術センター (プラハ、チェコスロバキア)  
「Super 8」 Yerba Buena Center for the Arts (サンフランシスコ)  
「Body Talks? 未知なるカラダ」 アートフェア東京、東京国際フォーラム (東京)  
「Mediated Visions」 Galerie Wedding (ベルリン)  
「柏シティジャック：アジア・パシフィック・ビデオアート展 from 宮津大輔コレクション」 (千葉)
- 2011 「ヨコハマトリエンナーレ 2011」 BankART (神奈川) \*  
「Invisbleness is visiblerness」 台北當代藝術館 (台湾) \*  
「Super 8」 クリストファー・グリムス ギャラリー (サンタモニカ)  
「オープンスタジオ」 ISCP-International Studio & Curatorial Program (ニューヨーク)  
「UNFOLDING: PROCESSES/SPACE/TIME」 グリム美術館 (ベルリン)  
「Body Talks?」 SYMPOSIA (東京)
- 2010 「あいちトリエンナーレ 2010」 納屋橋会場 (愛知) \*  
「六本木アートナイト」 六本木ヒルズ (東京)  
「Things That Only An Artist Can Do」 MARCO-ヴィーゴ現代美術館 (ヴィーゴ、スペイン) \*  
「Love Sick」 スティルズ・ギャラリー (シドニー)  
「Convocatoria Internacional de Jóvenes Artistas」 ルイス・アデランタード (バレンシア、スペイン)  
「No Holds Barred」 アート・アムステルダム (オランダ)  
「Can't go on like this!」 Map Office (香港)
- 2009 「5+1 ジャンクション・ボックス」 Vacant (東京) \*  
「Vom Labor zum Projekt」 ワイマール新美術館 (ワイマール、ドイツ)  
「UNIVERSO ELECTRÓNICO」 El Tanque Espacio cultural (カナリア諸島、スペイン)  
「JAPAN VIDEO WINDOW」 Duplex/10m2 (サラエボ、ボスニア・ヘルツェゴビナ) \*  
「Destroy Everything You Touch」 Espai'd Art de Gandia (スペイン)  
「むかし、ここらは海だった (Once, there was the sea)」 創造空間 9001 (神奈川)  
「Videonale 11 セレクション」 京都ドイツ文化センター (京都)  
「R\_minute」 Info Nantes public computer screens (ナント、フランス)  
「星に願いを。」 新宿眼科画廊 (東京)  
「ピンポン・クリティック」 京都芸術センター (京都)
- 2008 「横浜アート&ホームコレクション展」 横浜ホームコレクション (神奈川)  
「Re-imagining Asia」 世界文化会館 (HKW) (ベルリン) \*  
「BACKLIGHT08 第8回国際写真トリエンナーレ」 Nykykaika写真センター (タンペレ、フィンランド) \*  
「IASmedia Screening 2008」 インサ・アートスペース (ソウル)  
「Sound & Vision Vol.3 RefLect」 ZAIM (横浜)  
「Ohayo JAPAN ジャパン・フェスティバル」 LIA-ライブツィヒ・インターナショナル・アートプログラム (ドイツ)  
「VIDEOZOMER」 ペテルブルク・プロジェクトスペース (アムステルダム)  
「GOING TO OUESSANT-Video on the island」 (ウェサン、フランス)  
「Visions in the Nunnery 2008」 ザ・ナネリー (ロンドン)  
「Theory of Everything」 CASZ (アムステルダム)  
「Screening #10」 アート・クレームス・インパルス (ベルリン)  
「FairPlay Film&Video Award Selection」 Product Festival (ブルガリア)  
「東京芸術大学博士審査展」 東京芸術大学大学美術館 (東京)
- 2007 「I Am Future Melancholic」 テートモダン (ロンドン)  
「I Am Future Melancholic」 GoGallery (ミラノ)  
「Crawford Open 2007」 クロフォード・アート・ギャラリー (コーク、アイルランド)  
「Works by Emerging Video Artists」 チークウッド美術館 (ナッシュビル、アメリカ)  
「Theory of Everything」 東方：The Cinema of the Far East、サンテルモ城 (ナポリ、イタリア)  
「Museumsnacht」 キール市立ギャラリー (ドイツ)

- 「Artist as Activist」 plan-B (東京)  
「ビデオナーレ 11 セレクション」 インサ・アートスペース (ソウル、韓国)  
「ビデオナーレ 11 セレクション」 ソフィア王妃芸術センター (マドリード)  
「ビデオナーレ 11」 ボン美術館 (ドイツ) \*  
「マドリード・アビエルト2007」 カナル・メトロ (スペイン)  
「Japanese Video Art Screening」 ヘニエ・オンスタッド美術館 (オスロ)  
「Nightcomers」 第10回イスタンブール・ビエンナーレ \* (トルコ)  
「MIACA@LUX」 LUX (ロンドン)  
「コンペンディウム」 H-I-T (スウェーデン)  
「Future Landscape」 ケンブリッジ・フィルム・フェスティバル (イギリス)  
「Evolution 2007」 ザ・リナカー・スタジオ (リーズ、イギリス)  
「Saison Video 2007 #31」 カレー装飾美術館 (フランス) \*  
「Vor Ort」 ヴィラ・アム・アーバツハ、ウスター、スイス  
「Theory of Everything」 アイルランド現代美術館 (ダブリン)  
2006 「ARS 06 -Sense of the Real」 キアズマ現代美術館 (ヘルシンキ) \*  
「LichtRouten」 (リューデンシャイド、ドイツ)  
「Small mischiefs」 ポンプ・ハウス・ギャラリー (ロンドン)  
「Indblik」 ヘアニン美術館 (デンマーク)  
「オ・ビ・ラ by REC.」 MIACA、ザイム (横浜)  
「Staring into Space」 Trafó-ハウス・オブ・コンテポラリーアーツ (ブタペスト)  
「Fair Play 2006」 play - gallery for still and motion pictures (ベルリン)  
「Trans\_vision」 V&A Friday Late、ヴィクトリア&アルバート美術館 (ロンドン)  
「Pixapins」 フォトエスパーニャ2006 (マドリード)  
「Theory of Everything」 アジアン・カルチュラル・カウンシル (ニューヨーク) 他  
「The Peninsula」 シンガポール歴史美術館 (シンガポール)  
「Everyday Life is a Microcosm」 コーネル大学美術科実験スタジオ (イタカ、ニューヨーク)  
「To Be Continued..」 「Double Trouble」 tank.tv  
「ArtSway Open 06」 アート・スウェイ (ハンプシャー、イギリス)  
「Shrewsbury Open 2006」 シュルスベリ美術館 (イギリス)  
「badmeister kunst und sport teil 2」 Hallenbad Wald (ヴァルト、スイス)  
「kunstkanister」 Zeughaus Uster (ウスター、スイス)  
2005 「EMERGENCY 2」 アスペックス・ギャラリー (ポーツマス、イギリス)  
「Rosa!あらわにある色ピンク」 東京芸術大学陳列館 (東京) \*  
2004 「The World is Mine」 ヒロミ・ヨシイ・ファイブ (東京) \*  
「Voice of Site -Tokyo-Chicago-New York-」 旧坂本小学校 (東京) \*  
2003 「Green Space 2\_licht/schatten」 ハウス・アム・ホルン (ワイマール、ドイツ) \*  
2002 「フィリップモリスKKアートアワード2002 -The First Move」 東京国際フォーラム (東京) \*  
「Green Space」 東京芸術大学 (茨城) \*  
「菜の花里美発見展〈アート・ユニバーシアード〉」 (千葉)

## 映画祭・メディアフェスティバル

- 2017 Nimman Film Festival (チェンマイ、タイ)  
2016 Tweetakt Festival 2016、Fort Ruitenhoeck (ユトレヒト、オランダ)  
2011 Hors Pistes 2011、ポンピドゥーセンター (パリ)  
Performance-Festival 2011 (ブレーメン、ドイツ)  
2010 ヴィンタートゥール国際短編映画祭 (ヴィンタートゥール、スイス)  
2008 Video Art Festival #003、ハーベストワークス・デジタルメディア・アーツセンター (ニューヨーク)  
VIDEOAKT international videoart show、Glogauair (ベルリン)

- 2007 Trunkノルディック・アート・ビデオ・フェスティバル (エステルズ、スウェーデン)  
Optica: ヒホン国際ビデオアートフェスティバル (スペイン)  
D-NEFF (ビクトリア、スペイン)  
Transitio\_MX (メキシコ)  
VAD国際ビデオ&デジタルアーツフェスティバル (ジローナ、スペイン)  
カンスク・ビデオ・フェスティバル (ロシア)  
EXiS2007 (ソウル)  
d/Art/07、 The Australian Centre for Photography他 (シドニー)  
第17回ボッフム国際ビデオフェスティバル (ドイツ)  
第23回ハンブルク国際ショートフィルムフェスティバル (ドイツ)  
第9回 ZEMOS98 (セビリア、スペイン)  
第20回シュトゥットガルト・フィルムウィンター (ドイツ)  
FILE 2007 (リオ・デ・ジャネイロ、ブラジル)  
第36回ロッテルダム国際フィルムフェスティバル (オランダ)  
第10回文化庁メディア芸術祭、東京都写真美術館 (東京)  
第12回 ifva festival、香港アーツセンター (香港)
- 2006 トランスメディアアーレ.06 セレクションツアー (世界巡回)  
トランスメディアアーレ.06、アカデミエ・デア・キュンステ (ベルリン)  
The 11<sup>th</sup> Rencontres Internationales Paris/Berlin 2007、ポンピドゥーセンター他 (パリ)  
CODE: BLUE Millennium Dialogue 2006、チャイナ・ミレニアム・アートミュージアム (北京)  
VAD国際ビデオ&デジタルアーツフェスティバル (ジローナ、スペイン)  
shnit short film festival (ベルン、スイス)  
isfilmu Nakts #1、kSuns (ラトビア)  
第12回カナリア・メディアフェスト (スペイン)  
アルスエレクトロニカ・アニメーション・フェスティバル (リンツ)  
EMAF:ヨーロッパ・メディアアート・フェスティバル (オスナブリュック、ドイツ)  
モスクワ国際映画祭メディア・フォーラム (モスクワ)  
メディアアート・フリースランド (オランダ)  
CYNETart\_06 humane、クンストハウス・ドレスデン (ドイツ)  
グシュタート・フィルム・フェスティバル2006 (スイス)  
SHOWCASE International Portfolio Review、Kaufleuten (チューリヒ、スイス)
- 2005 カッセル・ドキュメンタリー&ビデオフェスティバル (ドイツ)  
LOOP :THE PLACE FOR VIDEO ART LOVERS (バルセロナ、スペイン)

## TV 放送

- 2010 「Die Nacht/La Nuit #98」 arte TV  
2009 「Die Nacht/La Nuit #90」 arte TV

## パブリック・コレクション

- ニュー・サウス・ウェールズ州立美術館 (シドニー)  
ピゴッツィ・コレクション